進路だより

令和８年９月 25 日（金）
東京都立矢口特別支援学校長
阿出川　千賀子
＜第３号＞進路指導部

朝夕の風に秋の気配が感じられる季節となりました。子供たちは日々の学習や活動を通して、自分らしい将来に向けて少しずつ歩みを進めています。

本号では、夏季休業中に実施した教員向け夏季研修会と進路見学会の様子についてお知らせいたします。今後の進路選択に少しでもお役立ていただければ幸いです。

■教員向け夏季研修会「高等部卒業後の進路・生活について」

７月２８日（火）に、教員向けの夏季進路研修会を実施しました。昨年度の保護者向け進路講演会で講師を務めていただいた社会福祉法人大田幸陽会より、グループホーム整備担当課長、大田区立大森東福祉園施設長、障害者生活ホーム ホーム長の皆様をお招きし、児童・生徒の卒業後の進路や生活について御講演いただきました。

講演では、各事業所の概要や役割についての説明に加え、「作業所や生活介護事業所等で身に付けておくべき力」や「意思決定支援」などについてお話いただきました。

意思決定支援は、本人が自分の将来や暮らしについて考え、周囲の支援を受けながら選択ができるよう支援することです。

今回の研修は教職員にとって、卒業後の生活を見据えた支援について理解を深める貴重な機会となりました。



【お知らせ】11/20(金)10時～　保護者向け進路講演会について

社会福祉法人徳心会いずみえん園長をお招きし、本校保護者に向けて進路講演会を実施いたします。詳細は後日御案内を配布いたします

また、講演会に参加される方を対象に事前に質問を募集しています。講演会の中で取り上げてほしい質問がありましたら、右記にありますＱＲコードを読み取って御入力をお願いします。

（URL：https://forms.cloud.microsoft/r/Bh52nh2aHS）

※講演会中に質疑応答の時間もありますので、講演を聞いてからの質問でも構いません。

※アーカイブ配信も予定しています。

■教員向け進路見学会①「社会福祉法人東京コロニー　大田福祉工場」

7 月 30 日（木）、教員 12 名で大田福祉工場の見学を行いました。大田福祉工場は、印刷業務を中心とした多機能型福祉サービス事業所（就労継続支援Ａ型・Ｂ型）であり、本校卒業生の就労実績もある施設です。

施設では、封入、宛名シール貼りなどの軽作業のほか、ドキュメントスキャナーを活用したデータ化業務、公園清掃、官公庁への配送補助など、多様な業務が行われていました。また、就労や余暇として活用するためのパソコン訓練が進められており、利用者が安心して働き続けられるよう、産業医による定期的なサポート体制も整えられていました。

さらに、余暇活動として塗り絵にも取り組まれており、利用者の作品を活用した自主製品の展開についても検討されているとのお話を伺いました。

見学を通して、卒業後の生活を見据え、学校生活の中で基本的な生活習慣や働くための基礎的な力を育成していくことの重要性を改めて実感しました。今後も、このような見学で得た知見を生かし、児童・生徒一人一人の将来を見据えた進路指導やキャリア教育の充実に努めていきたいと考えています。





■教員向け進路見学会②「特別養護老人ホーム・障害者支援施設　いずみえん」

8 月 26 日（水）、教員 11 名でいずみえんの見学を行いました。いずみえんは、特別養護老人ホーム、障害者入所施設、介護老人福祉施設、障害者支援施設、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所を併設した複合福祉施設です。高齢者と障害者の支援を両立させた施設であり、見守りセンサーやインカム等を活用し、利用者の安全確保に努めていました。

施設の様子を直接見学することで、利用者一人一人の生活を支える設備や支援体制について理解を深めることができました。本見学を通して、卒業後の生活の場や福祉サービスについて理解を深めるとともに、児童・生徒一人一人の将来を見据えた進路指導の重要性を改めて実感しました。今後は、今回得た学びを日々の教育活動や進路指導に生かし、児童・生徒が自分らしく豊かな地域生活を送ることができるよう支援していきたいと考えています。



